

第1回市民福祉講座を終えて

7月21日2018年度市民福祉講座 講演会「間違えてはいけない老人ホームの選び方」が無事終了し安堵しています。たくさんの方々が参加してくださいました。有難うございます。

久々の市民会館での開催なので、慣れていないスタッフも多く、苦勞が尽きなかった事でしょう！おかげでスタッフのチームワークも良く、事故もなく終了したことに感謝です。

開催に当たり「老後の人生設計～介護を受けながら生きる～」に寄せて 趣旨・目的をプログラムに記載しました。

老後の人生設計

～介護を受けながら生きる～ に寄せて

下関市の高齢化率は 34.1%、一人暮らしの高齢者は 17.1%、75 才以上二人暮らしは 11.0%、介護保険の要介護認定率は 20.9%です。(平成 29 年 10 月末現在)

高齢社会の大きな課題は、認知症や介護を必要とする人が増え、一人暮らしの高齢者が増え家族がいても世話をあてにはできない状況になり、社会的な支えが必要になってきます。介護が必要になった時に最期まで支えてくれるのは介護保険制度ですが、まだ充分頼りになるほどの制度にはなっていないのではないかと思います。より良い制度にして行く為に、利用者の立場や社会のニーズに即した見直しが大切です。

国は在宅介護・在宅での看取りを進めています。一人暮らしの高齢者が増える中、自宅での生活を継続することが困難な場合も多いのではないかと思います。そこで施設に入居する場合は人生最期まで自分らしく尊厳を持って生きることが出来る施設を選ぶことが重要になります。そして、施設における福祉サービスの質的向上と市民の価値観・人生観・死生観・ライフスタイルの変化に応じた福祉サービスを選択出来ることが重要です。(量から質の時代へ) どの施設を選ぶかで、サービスの内容には雲泥の差があります。どの施設で最期を迎えるかによって幸・不幸が決まるほどの格差があるようですので、命を預ける場として妥協してはいけないと思います。一人ひとりが大事にされ、人として愛される豊かな社会を目指して、市民がしっかりした目で、人生最期を託せる生活の場を選んでいきたいものです。

そこで、まず施設を学ぶことから始めようと考え、メインテーマを「老後の人生設計～介護を受けながら生きる～」とし、(1)講演会「間違えてはいけない老人ホームの選び方」、(2)講座「私たちが知りたい施設サービス」、(3)施設見学、(4)講演会「なぜ特養ホームは虐待が起きるのか～安心して安全な施設とは～」、(5)施設調査など、数年かけて学びたいと考えています。介護を受ける側、介護をする側両者が満足し、より良い関係を築きたいと願っています。ご一緒に学びませんか。



高齢社会をよくする下関女性の会 (ホーモイ)

代表 田中 隆子



今日は第1回「間違えてはいけない老人ホームの選び方」と題して、公益財団法人Uビジョン研究所理事長 本間郁子氏に講演して頂きました。

この講演で一人でも多くの方が「自分はどう生き、どこでどう人生の最期を迎えるか」を考えるきっかけになることを願っています。

感想は、内容は具体的で解りやすく、引き込まれ2時間という長さを感じなかったとか、とても内容が

良かったとか好評でした。

主催者としての反省は、ポスターを貼って広く広報すべきだった、施設関係の参加が少なく残念、介護する側・介護される側両者が満足しより良い関係を築きたい想いだったのですが・・・

第2回も頑張ってやります。多くの方のご参加をお待ちしています。

